



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ 地域コミュニティを核とした 天栄だからできる少人数教育

2024.12.20



教育委員会だより No.161

愛村心（I 尊心）を育む 天栄村！

発行：天栄村教育委員会

天栄村「つなぐ教育」 第2回メディアコントロールチャレンジへの取組

天栄村教育委員会では、これまでも年3回、児童生徒がメディアとのつき合い方を考える期間を設け、適切にメディアを活用できる力の育成を図ってきました。

この取組は、保護者の方にも一緒に取り組んでいただくことで成果が上がるのではないかと第2回学校運営協議会(9/19(木)に実施)で話題に上がり、各幼稚園・小学校・中学校のPTA会長から合意をいただくことができました。

そして第2回目からは、幼稚園・小学校・中学校の保護者の方にも取り組んでいただきました。



大切な情報を掲載したリーフレット

メディア・SNS 依存 ～心への影響～

- 思考力・集中力低下の原因について
- 判断力・社会性低下の原因について

メディア・SNS 依存 ～体への影響～

- ブルーライトの影響について
- 急増する「急性内斜視」について



等

リーフレットは、村 HP の教育課ページに掲載しています



学校でリーフレットに掲載してある情報を確認し、コースを決めて、1週間、メディアコントロールに取り組めます

コース チャレンジレベル(小学4～6年生用)

取り組み方法

- 1コース 睡眠時間9時間を確保
(ねる時間は夜の9時ごろ)
- 2コース メディア利用は1日1時間まで
- 3コース メディア利用は1日2時間まで
- 4コース ナイン OFF
(夜 9 時以降は利用しない)
- 5コース 食事中 OFF

家に帰ってからの時間を上手に使います
小学校6年生の平均睡眠時間は 7.9 時間です
見たい番組や動画、ゲーム等の利用を合計
1時間以内！ 工夫して学習や睡眠時間UP
見たい番組や動画、ゲーム等の利用を合計
2時間以内！ 工夫して学習や睡眠時間UP
夜遅くの利用は、寝つきを悪くし睡眠の質&学習
への集中力も低下させるので NO!
食事中は家族との団らんメイン！ 食事に集中して
良く噛んで味わって楽しく食べます



【教育課 HP】

【メディアコントロールチャレンジに取り組んでみて】

<小学4～6年生児童>

- ゆっくり、体と目を休めることが出来た。
- 今回は、完璧ではなかったけど、△はないのでまあまあでした。来年は完璧にするか、コース2にしたいです。
- 「努力しようとしたが出来なかった」が多かったので、次は守れるようにしたい。
- ちゃんと取り組んでいるんだなと分かった。

<小学校保護者>

- 子供と一緒にやる事で、大人もちゃんとルールを守ってメディアと付き合っていないといけないと改めて感じました。
- 普段と変わりはなかったですが、今日の出来事やこれからのことなどを話しあって、笑ったり考えたりしました。

取組の結果を含め、詳しくは村 HP の教育課ページに掲載している資料をご覧ください

生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択できる環境を整え、「愛村心を育むふるさと教育」を目標に取り組んでいます。そうした村民の主体的な学習活動を支援し、習得した知識を地域へ還元できる人づくりを推進していきます。

○ふくしま駅伝



11月17日(日)、白河市総合陸上競技場をスタートし、福島県庁をゴールとする「第36回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会」が開催され、選手は村の代表として16区間(96.3km)でふるさとの思いを込めたタスキを繋ぎ、懸命に走り抜けました。選手たちは日頃から大会に向けての定期的な練習や各所で開催されたロードレース大会に参加し、実践での練習を積み重ねながら、本番である駅伝大会に挑み、自己ベストの記録を出すなど、チーム全員が一丸となって大会を走り抜けました。

大会での成績は総合順位26位、村の部4位で敢闘賞を受賞、昨年を上回る過去最高の成績を残しました。

また、1区岩崎麻知子選手(拓殖大学2年生)は花の1区を走り総合での区間賞、8区を走った黒澤大夢選手(天栄中3年生)は村の部区間賞を受賞しました。

○寿大学(移動研修)

11月26日(火)に第7回開講の寿大学では普段の生活の糧となるよう、生きがいづくりや仲間づくりを育むことを目的として移動研修を行いました。

研修先は福島市にある福島県立美術館では「ポップアート時代を変えた4人」の企画展が行われており、「ポップアートは報道写真、商業広告、量販店のパッケージ、著名人のポートレートなど、日常生活にありふれたモチーフやイメージを美術の中に取り入れたもの」作品を見学した参加者は互いに意見の交換の行いながら親睦を深めていました。



午後は、道の駅「ふくしま」の施設の見学を行い、参加者は施設の規模や地元の農産物や加工商品の品揃えの多さに驚きながら、お土産などの買い物を楽しみ有意義な一日を過ごしました。